2015年4月

色やテイストを統一して「落ち着ける」気分を演出
20～30代女性のインテリアと住まいへの「おもい」

生活者研究センター
研究員　川口 美和

生活者研究センターでは、生活者ひとりひとりの「おもい」や「くらし」を見つめるために、家庭訪問によるインタビュー調査を行っています。さまざまなお宅にお伺いしていく中で、インテリアの傾向が年代によって異なっているように感じました。そこで今回、生活者のインテリアの実態や「おもい」を知るために、部屋の写真を撮影してもらうビジュアル調査と、家庭訪問調査等を行いました。その結果、特に20～30代の女性では、「落ち着きたい」という気分がインテリアに大きく反映している様子が見えてきました。

トピックス

- **外の緊張感からの解放!?自宅はほっと「落ち着きたい」場所**
- **シンプル志向はどの年代も共通だが、20～30代は「統一感」を重視**
- **テイストや色味が「気分」に影響することを強く意識したインテリアづくり**

【調査概要】

「女性のインテリアと住まいへのおもい」

調査期間：2014年4月、9月
調査方法：ビジュアル調査
（スマートフォンを活用した写真調査）
調査対象：20～50代女性
回答者数：400人

調査期間：2014年9月
調査方法：インターネット調査
調査対象：首都圏在住20～60代女性
回答者数：700人

調査期間：2014年6月
調査方法：家庭訪問インタビュー調査
調査対象：首都圏在住20～50代既婚女性
対象者数：5人

外の緊張感からの解放!?
自宅はほっと「落ち着きたい」場所

『自宅でなりたい気分』を自由回答で尋ねたところ、40～50代では「のんびり」「ゆっくり」「まったり」「ゆったり」など、『時間的なゆとり』を想起させる言葉が多いのに対して、20～30代では、「リラックス」「落ち着く」「安らぐ」「癒す」「ほっと」など、『精神的な落ち着き』を表現する言葉が多く挙げられました。家庭訪問調査でその背景を探ると、ママ友や仕事仲間との付き合いなど、外で他人に気を遣うことの多いこの年代ならではの『自宅ではオフになりたい』という意識がありました。

シンプル志向はどの年代も共通だが、
20～30代は「統一感」を重視

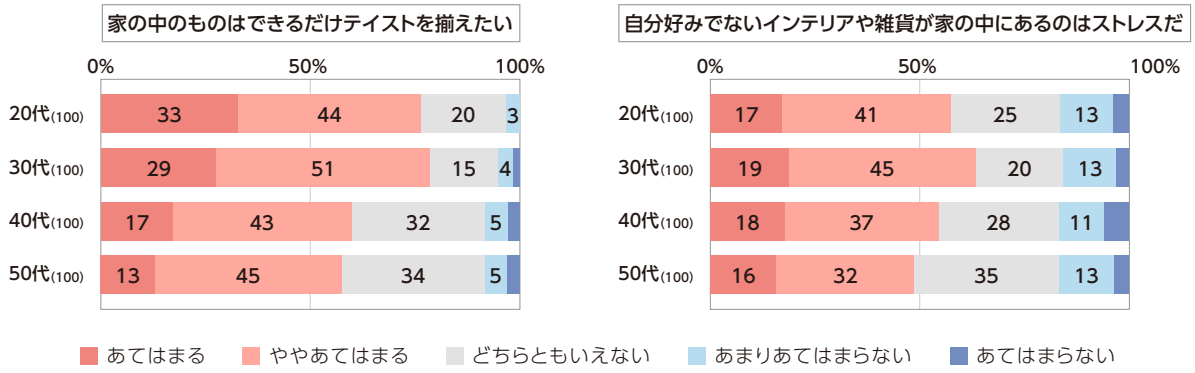
理想とする住まいやインテリアのイメージ・テイストについて自由回答で尋ねたところ、20～50代に共通して、「シンプル」という単語が1位に挙がりました。また、20～30代では「統一する」「色」「ブラウン」「白」など、40～50代では「物」「収納」「置かない」などが上位に挙がる傾向にありました（図表1）。40～50代では、増えてしまった物を収納して、見た目がスッキリとした状態を目指しているのに対して、20～30代は落ち着いた色で統一することを重視しているようです。

20代(108)			30代(206)			40代～50代(86)		
1位	シンプル	36.1%	1位	シンプル	34.5%	1位	シンプル	24.4%
2位	落ち着く	19.4%	2位	落ち着く	19.9%	2位	物	17.4%
3位	統一する	17.6%	3位	物	16.0%	3位	収納	14.0%
4位	色	14.8%	4位	統一する	15.0%	3位	色	14.0%
5位	ナチュラル	11.1%	5位	色	14.6%	5位	置かない	10.5%
5位	ブラウン	11.1%	6位	ナチュラル	13.6%	5位	落ち着く	10.5%
7位	白	10.2%	7位	置かない	7.8%	7位	明るい	9.3%
8位	生活感	9.3%	8位	北欧	7.3%	8位	統一する	8.1%
9位	物	8.3%	9位	収納	6.8%	9位	ナチュラル	7.0%
10位	かわいい	6.5%	9位	白	6.8%	9位	木	7.0%
10位	子供	6.5%	11位	ブラウン	6.3%	11位	くつろぐ	5.8%
12位	グリーン	5.6%	11位	モダン	6.3%	11位	白	5.8%
12位	広い	5.6%	11位	子供	6.3%	13位	グリーン	4.7%
14位	モダン	4.6%	14位	木	5.8%	13位	家族	4.7%
14位	収納	4.6%	15位	明るい	5.3%	13位	居心地	4.7%

20～50代女性　400人（花王 生活者研究センター調べ）

（図表1）住まいやインテリアに求める理想のイメージ・テイスト（自由回答での単語ランキング）

インテリアに対する考え方では、20～30代の約8割が「家の中のものはできるだけテイストを揃えたい」と回答し、40～50代と比較してインテリアへの意識が高いこともわかりました。さらに約6割が「自分好みでないインテリアや雑貨が家の中にあるのはストレスだ」と感じており、自分好みのテイストで統一したいという思いが強いことがうかがえました（図表2）。



20～50代既婚女性　400人（花王 生活者研究センター調べ）

（図表2）インテリアに対する考え方

～思いおもいの落ち着ける空間づくりを実現している事例～

実際の住まいを見るために、インテリアに意識の高い20～30代の方のお宅に伺いました。その結果、思いおもいのインテリアで、居心地のよい落ち着ける住まい空間づくりに取り組んでいることがわかりました。

事例 1

必要最低限のものしか置かない「シンプルモダン」テイスト

家の外に一歩出ると何かと気を遣って緊張します。家は、納得したものや雰囲気に囲まれ、自分が住みやすいスタイルを作ったので、とっても居心地のよい一番落ち着ける場所です。

私も夫もインテリアにこだわっています。家を建てるときには、時間をかけて窓枠のイメージを決めました。

Aさん（33歳）専業主婦
【家族】夫、息子2人【間取り】一戸建て（4LDK）

こだわりポイント

- 気に入ったもの、必要最低限のものしか置かない
- ブラウンと白で統一するのが基本
- 子供部屋のユニットマットもやっぱりブラウン×白に

事例 2

お気に入りのものに囲まれた「北欧シンプル」テイスト

自分の好きなテイストを取り入れて、少しずつ自分好みの北欧の気分を味わえる空間を実現していく、その過程もまた楽しい。気に入ったものに囲まれているから、家にいると落ち着けます。

私の好きな赤色をちょっと効かせて、自分らしさを出しています。

Bさん（29歳）パート
【家族】夫、娘1人【間取り】マンション（3LDK）

こだわりポイント

- 北欧っぽさを感じる雰囲気に
- こだわってセレクトしたものを、自分らしく飾る
- 圧迫感を感じない背の低い家具

【リラックスしやすいアイテムで落ち着いている人も】

ビジュアル調査では、テイストや色の統一感を重視して、室内をスッキリさせることで落ち着ける空間づくりをうまく体現している人がいました。一方で、インテリアのスッキリ感を欠くお部屋も。彼女たちは布団の上などをお気に入りの空間として挙げており、リラックスしやすい場所で、落ち着きを得ているようでした。

テイストや色味が「気分」に影響することを強く意識したインテリアづくり

20～30代女性は、家で落ち着きたいという思いが強く、インテリアのテイストや色味が自分の気分に影響することを意識しながら、住まいづくりを行っている様子が見て取れました。また、コーディネートとしては、シンプル志向がより強く、空間全体の統一感を重視し、白やブラウンなどアースカラーの落ち着いた色味や好みのテイストで統一していました。圧迫感のない背の低い家具が多いのが特徴的で、家具の材質など素材感へのこだわりも見られました。
今回の研究結果から、自分が好きなもの、必要なもの「だけ」の空間にすることで視覚的なストレスを排除し、自分が落ち着ける場所づくりを実現していることがわかりました。

●お問い合わせ・ご意見は　花王株式会社 生活者研究センター
〒131-8501 東京都墨田区文花 2-1-3　TEL. 03-5630-9963(月～金 9:00～17:00)　FAX. 03-5630-9584
くらしの研究　http://www.kao.co.jp/lifei/

※掲載の記事・写真の無断掲載・複写を禁じます。